

2026年5月26日

各位

株式会社 北海道銀行

佐呂間町と株式会社バイウィルとの環境価値活用による カーボンニュートラル達成に向けた連携協定の締結について

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、北海道佐呂間町（町長 武田 温友、以下「佐呂間町」）および株式会社バイウィル（代表取締役社長 下村 雄一郎、以下「バイウィル」）との間で、本日付で連携協定を締結しましたのでお知らせいたします。

本協定をもとに、佐呂間町内で創出可能なJクレジットをはじめとする各種環境価値に関する情報・ノウハウ等の共有や、新たなビジネスモデルの創出に取組み、三者が連携して地域のカーボンニュートラルの実現を目指してまいります。

記

1. 連携事項

- （1）環境価値に関する情報・サービス・ノウハウ等の提供
- （2）環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出
- （3）その他、本協定の目的に資すると当事者すべてが認める事項

2. 連携協定締結の経緯

佐呂間町は、2026年4月1日に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年までにCO2排出量実質ゼロを目指すことを表明しました。実現に向けて、サロマ湖に代表される豊かな自然環境を守りつつ、再生可能エネルギーの有効利用や省エネルギー活動に取り組んでいます。

このような背景から当行は、Jクレジット創出事業を支援するバイウィルを佐呂間町へご紹介し本締結に至りました。今後、バイウィルは森林由来のJクレジット創出・販売をご支援する予定です。販売面では当行も協力し地域活性化を図ってまいります。

3. 締結式 <日時・場所：2026年5月26日（火）9時30分・佐呂間町役場>



【写真左から】

北海道銀行 執行役員
オホーツク地区営業担当兼北見支店長 東田 武彦
佐呂間町 町長 武田 温友 様
株式会社バイウィル 執行役員 前田 哲志 様

4. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道銀行 経営企画部サステナビリティ推進室 大西 Tel(011)233-1009
経営企画部広報CSR室 坂野 Tel(011)233-1005